



## 外国出張報告書

平成 28 年 3 月 11 日

1. 出張国名        ナイジェリア
2. 出張月         平成 28 年 2 月
3. 出張目的        ヤム食味・品質関連成分の種・品種間差の解析および評価手法の開発：B
4. 成果の概要

国際熱帯農業研究所(IITA)において、ホワイトギニアヤム (*D. rotundata*) 担根体 (イモ) の切断面の褐変に関与する酵素の定性試験を実施した。褐変に関わる酵素はポリフェノールオキシダーゼであることが推定され、その品種間差が大きいことが明らかになった。品質の指標として市場で重要視される褐変について、品質の改善に向けた育種の実施が期待出来る。